

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立木曳野小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施) (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	19.0	37.0	27.0	17.0	0
問2	英語科の勉強は大切だ。	56.0	30.0	11.0	3.0	0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	33.0	46.0	17.0	4.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	12.0	48.0	25.0	16.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	17.0	37.0	32.0	14.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	72.0	23.0	2.0	4.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	65.0	28.0	4.0	3.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	47.0	32.0	14.0	7.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	21.0	44.0	21.0	15.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	53.3	25.6	17.9	1.6	1.6
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	48.2	26.7	15.9	3.2	6.0
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	45.7	29.3	20.0	3.0	2.0

②指導改善の具体策

【英語科】 授業はわかるが好きと答えた児童が少ないため、中学校のALTと交流する等の英語を使いたくなる場面設定や伝える相手を工夫し、興味関心が持てるようにする。デジタル教材やICTを用いて、個に応じた指導や自己調整学習ができるようにする。
【デジタル科】 ノートなどの文房具と同様に日常的に活用できるよう授業以外の場面(委員会活動や係活動など)でも積極的に活用する。また、ICTを有効に活用できた姿を価値づける。

③学校関係者評価

【英語科】 授業の中で、教科書とタブレットを併用している場面を見かけた。音声を聞いたり、録音したりできる機能が効果的だと感じた。「できるようになった」と感じさせ、英語の学習が好きになっていくことにつなげていくとよい。
【デジタル科】 日常生活の中で、生成AIは身近なものになっている。とても便利なものである。学習の中でうまく活用する力を身につけさせられるとよい。